

華中調查速報第一九〇號
昭和十六年五月

教育公報抄（邦譯）

民國三十年四月十五日

第二十四期

興亞院華中連絡部

81

REEL No. A-0279

0450

發送先

本院

華北連絡部次長

蒙疆、廈門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集團參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

中文那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

各 各

九〇

部部部部部部部部部部部部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在東京大使館

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滬上辦事處

東亞研究所 東京

中華民國法制研究會

各 各

部部部部部部部部部部部部

凡例

- 一 本報の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、
- 各省公報及南京、上海兩市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する
- 方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部國務局の編輯編輯に係る

目次

- 一、教育部及直轄各機關職員連環保證暫行辦法……………一頁
- 二、各省市縣教育機關人員連環保證暫行辦法……………三頁

目次

一、教育部及直轄各機關職員連環保證暫行辦法	一
二、各省市縣教育機關人員連環保證暫行辦法	三



教育部及直轄各機關職員連環保證暫行辦法

(中華民國三十年三月十九日公布)

- 第一條 本部ハ確實ニ和平運動ヲ普及スル爲竝ニ各職員ノ思想ヲ統一スル目的ヲ以テ特ニ本辦法ヲ定ム
- 第二條 本部薦任以上ノ職員及直轄各機關主管長官以外ノ各職員ハ總テ本辦法ニ依リ連環保證(相互保證)書ヲ作製スベシ若シ之ヲ作製セザルトキハ任用スルコトヲ得ズ其ノ連環保證書様式ハ本部ヨリ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 本部ノ職員ハ連環保證書ヲ一通作製シ部次長ニ提出シテ記錄セシムベシ各直轄機關職員ハ連環保證書ヲ二通作製シ本機關ノ主任長官ニ提出シテ審査ヲ受ケタル後一通ヲ保存シ一通ハ本部ニ送付シテ記錄セシムベシ

1

- 各直轄機關職員ハ連環保證書ヲ二通作製シ本機關ノ主任長官ニ提出シテ審査ヲ受ケタル後一通ヲ保存シ一通ハ本部ニ送付シテ記錄セシムベシ
- 第四條 本部ノ職員及直轄各機關職員ハ三人以上聯合シテ相互ニ之ヲ保證スベシ
- 第五條 各職員ハ連環保證書ヲ作成スルヲ除クノ外本部各司、處、室ノ職員ニ於テハ各司、處、室ノ主管長官ヨリ之ヲ爲シ直轄各機關ノ職員ニ於テハ各直轄機關ノ主任長官ヨリ之ヲ爲ス仍隨時其ノ言行、思想ニ就キ嚴密ニ之ヲ調査スベシ
- 第六條 本暫行辦法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

2

各省市縣教育機關人員連環保證暫行辦法

(中華民國三十年三月十九日教育部訓令)

- 第一條 本部ハ確實ニ和平運動ヲ普及スル爲竝ニ各省市縣教育機關人員ノ思想ノ複雜ヲ防備スル目的ヲ以テ特ニ本辦法ヲ制定ス
- 第二條 各省市縣教育機關及教育行政機關ハ教育廳長、市教育局長、縣長ヲ除クノ外總テノ服務人員ハ一律ニ本辦法ニ依リ連環保證(相互保證)誓ヲ作製スベシ若之ヲ作製セザルトキハ任用スルコトヲ得ズ
- 其ノ連環保證書樣式ハ本部ヨリ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 管市縣教育行政機關人員ハ總テ連環保證書ヲ二通作製シ本機關長官ニ提出シテ審査ヲ受ケタル後一通ヲ保存シ一通ハ上級行政機關ニ送付シテ記錄セシムベシ

- 第四條 管立各教育機關人員ハ總テ連環保證書ヲ一通作製シ教育廳ニ送付シテ記錄セシムベシ
- 第五條 各縣ノ縣立各教育機關及私立各中小學校ノ補習學校又ハ私塾等ノ服務人員ハ連環保證書ヲ二通作製シ教育局又ハ縣政府ニ提出シテ審査ヲ受ケタル後一通ヲ保存シ一通ハ教育廳ニ送付シテ記錄セシムベシ
- 第六條 各市ノ市立各教育機關及私立各中小學校ノ補習學校又ハ私塾等ノ服務人員ハ連環保證書ヲ二通作製シ教育局又ハ市政府ニ提出シテ審査ヲ受ケタル後一通ヲ保存シ一通ハ上級行政機關ニ送付シテ記錄セシムベシ
- 第七條 各教育機關及教育行政機關人員ガ連環保證書ヲ作製スルトキハ三人以上聯合シテ相互ニ之ヲ保證スベシ
- 第八條 各單級小學ノ補習學校及私塾ノ教師又ハ塾師(私塾教師)

ノ人数ガ三人ニ滿ザルトキハ附近ノ單級小學ノ補習學校及私塾ノ教師又ハ塾師ト相互ニ之ヲ保證スルコトヲ得

第九條 各省市縣教育機關人員ハ連環保證書ヲ作製スルヲ除クノ外省市縣ノ督學及各區ノ教育委員ガ之ヲ視察スルトキハ各教育機關人員ノ思想及文字方面ニ對シテハ仍嚴密ニ之ヲ調査スベシ

第十條 各省市縣教育行政機關主管人員ノ連環保證事項處理ハ重要ナル功績考査ノ一ト爲ス

第十一條 本暫行辦法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查總報第一九一號
昭和十六年五月

農續公報抄（邦譯） 民國三十年五月五日 第五十七號

興亞院華中連絡部

發送先

本院

華北連絡部次長

蒙疆、廈門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集國參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

支那派遣軍總司令部

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

各

各

各

九〇

部部部部部部部部部部部部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滬鏡上海事務所

東京研究所

中華民國法制研究會

各

各

各

各

各

部部部部部部部部部部部部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院・部公報並に江蘇、浙江、安徽・の各省公報及南京、上海兩市公報の報譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

一、農林部稻作講習會章程	一
二、各省市稻作講習會通則	四
三、農林部特約農家章程	七
四、農林部稻作示範區辦法	一
五、農林部稻作巡迴指導辦法	六
六、農林部雜糧巡迴指導辦法	八

農績部稻作講習會章程

(中華民國三十年四月二十六日農績部公布)

- 第一條 農績部ハ全國ノ稻作ヲ改進(舊弊ヲ改メ新方針ニ進行スル
コト)シテ生産ノ増加ヲ謀ル目的ヲ以テ稻作講習會ヲ設立ス(以下本會ト略稱ス)
- 第二條 本會ハ南京市孝陵衛中央農業實驗所ニ設ク
- 第三條 本會ニ主任一人ヲ置キ中央農業實驗所々長之ヲ兼任ス教導
長、事務長各一人ヲ置キ主任之ヲ任命ス
- 第四條 本會ニ講師、辦事員各若干人ヲ置ク主任ニヨリ各別ニ聘任
又ハ之ヲ雇用ス
- 第五條 本會聽講員ノ定員ハ五十人トス農績部ヨリ各省市ノ建設廳
社會局ニ命ジ農業技術者ヲ五人乃至七人選拔セシメ之ヲ保證派

遺スルモノトス

- 第六條 各省市ガ保證派遣スベキ聽講員ノ往復旅費ハ各主管機關ヨ
リ自ラ責任ヲ負ヒ正式ニ之ヲ支出スルモノトス
- 第七條 本會ノ講習期間ハ十日ト定ム
- 第八條 聽講員ノ着會後ノ總テノ食事及宿泊ハ悉ク本會ヨリ之ヲ供
給ス
- 第九條 本會ノ講習科目左ノ如シ
 - 一 稻作概論
 - 二 稻作育種(種子養育)
 - 三 稻作栽培
 - 四 稻作土壤及肥料
 - 五 稻作病害
 - 六 稻作蟲害

- 七 米穀調製及貯藏
- 八 稻作普及
- 九 討論問題
- 十 精神講話
- 第十一條 各省市ノ稻作講習會章程ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十一條 本章程ハ農林部公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

各省市稻作講習會通則

(中華民國三十年四月二十六日農林部公布)

- 第一條 本省市ハ中央稻作講習會章程第十條ノ規定ニ依リ省市稻作講習會ヲ設立シ以テ本省市ノ稻作ヲ改進(舊弊ヲ改メ新方針ニ進行スルコト)スルコトヲ主旨トス(以下本會ト略稱ス)
- 第二條 本會ハ省市政府ノ所在地ニ之ヲ設ク
- 第三條 本會ニ正副主任各一人ヲ置ク正主任ハ各省市ノ建設廳長又ハ社會局長之ヲ兼任シ副主任ハ農林部長之ヲ任命ス教導長、事務長各一人ハ主任之ヲ任命ス
- 第四條 本會ニ講師及辦事員各若干人ヲ置ク正、副主任ニヨリ各別ニ聘任又ハ之ヲ雇用ス
- 第五條 本會職員ノ定員ハ三十人ヨリ六十人迄トス主管機關ヨリ

- 各縣區公署ニ命ジ農業技術者及忠實ナル農業青年ヲ二人乃至三人選拔セシメ會ニ於テ聽講セシム
- 第六條 各縣區ガ保證派遣スベキ聽講員ノ往復旅費ハ縣政府又ハ區公署ヨリ自ラ責任ヲ負ヒ正式ニ之ヲ支出スルモノトス
- 第七條 本會ノ講習期間ハ六日ト定ム
- 第八條 聽講員ノ着會後ノ總テノ食費及宿泊ハ悉ク本會ヨリ之ヲ供給ス
- 第九條 本會ノ經費ハ各省市ニ於テ責任ヲ持チテ之ヲ計畫準備スルモノトス不足ナルトキ中央ハ適宜之ヲ補助スルコトヲ得
- 第十條 本會ノ講習科目左ノ如シ
 - 一 稻作概論
 - 二 稻作育種（種子ノ養育）
 - 三 稻作栽培

- 四 稻作病害
 - 五 稻作虫害
 - 六 稻作土壤及肥料
 - 七 米穀調製及貯藏
 - 八 稻作普及
 - 九 討論問題
 - 十 精神講話
- 第十一條 本章程ハ農林部公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農務部特約農家章程

(中華民國三十年四月二十六日農務部公布)

第一條 農務部ハ全國各地ノ農家ヲ指導シテ農業經營技能稻麥ノ改良及雜穀等ノ重要作物ノ生産方法ヲ增長セシメ以テ模範ヲ示ス目的ヲ以テ特ニ本章程ヲ制定ス

95

第二條 年齡滿二十歲ノ中華民國人民ニシテ當地ニ居住シ滿二年以上農業ヲ經營シ左記資格ヲ具有スル者ハ特約農家ト爲ルコトヲ得

- 一 思想純潔、品行方正タル者
- 二 多少文字ヲ識リ且進取性ニ富ム者
- 三 本人及其ノ家族ガ直接農業工作ニ二人以上従事セル者
- 四 水稻又ハ其他ノ重要作物ヲ耕作シ面積十畝以上ナル者
- 五 家庭ノ經濟狀況ガ尙生活ヲ維持シ得ル者

第三條 前條特約農家ノ資格ヲ具有スルトキハ各該處主管機關ヨリ直接之ヲ指定スルヲ除クノ外自ラ之ヲ申請シ又ハ當地ノ自治機關ヨリ紹介シテ志願書ヲ作製送付スルコトヲ得之ガ各該主管機關ノ審査ヲ經テ合格シタルトキハ直ニ保證書ノ提出ヲ通知シ之ヲ記録セシム

其ノ志願書及保證書ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 特約農家ノ特約期間ハ一年ト定ム期限滿了シタルトキハ繼續シテ再特約スルコトヲ得

第五條 特約農家ハ各該主管機關ノ指導ヲ受ケ左記各事項ノ一部又ハ全部ヲ處理スルコトヲ要シ且事後ニ於テハ本部ノ交付シタル成績調査表ヲ作製送付スベシ

- 一 稻麥雜糧等重要作物ノ優良種苗ノ栽培及調製貯藏方法ノ改良ニ關スル事項

- 二 農田ノ水利及耕地ノ整理改進ニ關スル事項
- 三 土壤肥料ノ改良及新式農具ノ使用ニ關スル事項
- 四 河蟲害ノ豫防及驅除ニ關スル事項

第六條 特約農家ノ需用スベキ種苗、肥料、農具等ガ總テ本部ヨリ貸與又ハ指定セルモノヲ採用シタルトキハ其ノ出產農產品ハ本部ヨリ市價ニ從ヒ之ヲ購買シテ普及ノ用ニ供スルコトヲ得

第七條 特約農家ハ左記ノ待遇ヲ享受スルコトヲ得
 一 本部ヨリ種苗、肥料、農具及其ノ他農用物品ノ贈與又ハ之ヲ廉價販賣

二 本部ヨリ農報叢刊又ハ其ノ他ノ出版物ノ贈與
 三 本部ニ對シ農業上ニ關スル疑問難解事項ノ詢問

第八條 特約農家ハ一年ノ特約ヲ經テ期限滿了シ且本部ノ考査ヲ經テ確カニ優良ナル成績ヲ具有スル者ハ本部ヨリ褒狀ヲ交付シ以

テ獎勵ニ資スルモノトス

第九條 本章程ハ農務部公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農務部稻作示範區辦法

(中華民國三十年四月二十六日農務部公布)

- 第一條 農務部ハ稻作ノ生産ヲ増進セシメ且模範ヲ示ス目的ヲ以テ特ニ本辦法ヲ制定ス
- 第二條 先ニ江蘇省、浙江省、安徽省ノ三省及南京、上海ノ兩市ヲ設置實施ス漸時一百區ニ定ム
- 江蘇省三十五區、浙江省二十五區、安徽省二十五區、南京市五區、上海市十區トス每區ノ範圍ハ各地ノ事情ニ應ジ適宜ニ之ヲ定ム但シ少クトモ一百畝以上アリテ五個ノ鄉村内ニ散布シアルモノタルベシ
- 第三條 設置地點ハ交通ノ便利ナル農民集中ノ鄉鎮村落タルコトヲ原則トス

11

- 第四條 區ニ指導員ヲ置キ各區指導ノ責ヲ負ハシム(指導員ハ訓練ヲ受ケタル學員ヨリ之ニ任ズルコトヲ原則トス)
- 第五條 指導事項

12

- 一 秋田(植付ケル田)ノ合作組織ニ付テハ豫メ全區ノ秋田ヲ統計シ若干組ニ分チ適當ナル場所ヲ選定シ秋田合作規定ニ依リ之ヲ播種(種ヲマク)セシムベシ
- 二 栽培ノ指導ニ付テハ肥料ノ培ヒ、草除キ、灌溉、土質改良及樹木株ノ距離及樹木株數ノ規定等ノ工作ニ注意スベシ
- 三 病虫害ノ驅除指導ニ付テハ豫防工作ニ注意スルコトヲ要シ若発見シタルトキハ直ニ方法ヲ諒シテ之ヲ撲滅スベシ
- 四 收穫ノ指導ニ付テハ農民ニ善キ種ヲ選定保存セシメ及收穫後ノ乾燥、貯藏等ノ工作ヲ指導スベシ

- 五 種子ノ配給
- 指導ニ付テハ品種ノ交換及優良品種ヲ購入セシム
- 六 水源ヲ疏通シテ農閑期ヲ利用シ農民ヲ指導シテ河ヲ深メ池ヲ穿テ以テ水源ヲ増サシム
- 七 副業ノ提倡ニ付テハ荒地ノ開墾水産事業ノ提倡及家畜類ノ飼養指導並ニ園藝等ノ工作ニ注意スベシ
- 八 合作事業ノ指導ニ付テハ購買合作社、灌漑合作社、貯蔵合作社等ニ注意スベシ農民ノ未ダ合作常設ノナキ場合ニ於テハ農民互助團ヲ組織セシメ以テ之ヲ推進スベシ
- 九 農民講習會ノ組織ニ付テハ全區ノ農家ノ戸主ヲ各別ニ若干ノ講習會ヲ組織セシメ以テ農閑期又ハ特殊事情ノ時ニ之ヲ召集シテ農事改革及病虫害豫防驅除ノ常識ヲ注入スベシ

第六條 獎勵法

- 一 指導者ノ獎勵
 - 甲 名譽獎勵
 - 乙 進級獎勵
 - 二 農民ノ獎勵
 - 甲 合作、秧田、租借金、肥料及病虫害●藥劑物品等ノ供給
 - 乙 耕作及家畜類飼養農具ノ供給
 - 丙 金錢又ハ物質ノ獎勵
- 第七條 經費ハ暫時毎區ニ常年經費ヲ一千四百元ト定メ中央ヨリ四萬二千元ヲ補助ス其ノ他ハ各省市ニ於テ自ラ之ヲ計畫ス各區經費ノ支出ニ付テハ指導員ヨリ豫算ヲ作成シ許可ヲ經テ之ヲ支出スルモノトス

第八條 本辦法ハ農林部公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農林部稻作巡廻指導辦法

(中華民國三十年四月二十六日農林部公布)

- 第一條 農林部ハ全國ノ稻作ヲ指導シ以テ技術ヲ改良シ及生産ヲ増加セシムル目的ヲ以テ特ニ本辦法ヲ制定ス
- 第二條 稻作ノ巡廻指導時期ハ毎年四月ヨリ十月マデトシ必要ナルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得
- 第三條 指導範圍ハ暫時特約農家(模範農)及稻作示範區(模範區)ヲ以テ限度トス
- 第四條 指導者ハ左記ノ各種ニ分ツ
- 一 農林部及中央農林實驗所ノ派遣シタル農林指導者
 - 二 各省市縣政府ノ派遣シタル農林技術者
 - 三 曾テ中央及各省市ノ稻作講習ノ訓練ヲ受ケタル者
- 第五條 巡廻指導者ノ指導スベキ事項左ノ如シ

- 一 稻作ノ種類選擇事項
 - 二 秧田(植付ケル田)ノ耕作法及管理事項
 - 三 田ノ植付事項
 - 四 肥料ノ自製及使用事項
 - 五 病虫害ノ豫防驅除事項
 - 六 精米、乾燥、調製、貯藏等ノ指導事項
 - 七 稻作増産ニ關スル其ノ他ノ指導事項
- 第六條 一 特約農家及稻作示範區ニ每年少クトモ四回之ヲ指導ス
被指導者ハ指導ヲ受ケタル後ハ適切ニ遵守シテ之ヲ行フベシ
- 第七條 被指導者ハ故ナク指導ヲ拒絕スルコトヲ得ズ
- 第八條 被指導者ハ故ナク指導ヲ拒絕スルコトヲ得ズ
- 第九條 指導者ノ指導費用ニ關シテハ本部ヨリ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 本辦法ハ農鏡部公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農鏡部雜糧巡廻指導辦法

(中華民國三十年四月二十六日農鏡部公布)

- 第一條 農鏡部ハ雜糧ヲ指導シ以テ技術ヲ改良シ及生産ヲ增加セシムル目的ヲ以テ特ニ本辦法ヲ制定ス
- 第二條 雜糧ノ巡廻指導時期ハ每年四月ヨリ十月マデトシ必要アルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得
- 第三條 指導範圍ハ暫時雜糧ヲ區域シタル區域ヲ以テ限度トス
- 第四條 指導者ハ左記ノ各種ニ分ツ
 - 一 農鏡部及中央農業實驗所ノ派遣シタル農業指導者
 - 二 各省市縣政府ノ派遣シタル農業指導者
 - 三 會テ中央及各省市ノ農業技術ノ訓練ヲ受ケタル者
- 第五條 巡廻指導者ノ指導スベキ事項左ノ如シ

- 一 雜穀ノ種類選擇事項
 - 二 雜穀ノ耕作及管理事項
 - 三 雜穀ノ植付事項
 - 四 肥料ノ自製及使用事項
 - 五 病虫害ノ豫防驅除事項
 - 六 乾燥、調製、貯藏等ノ指導事項
 - 七 雜穀増産ニ關スル其ノ他ノ指導事項
- 第六條 一雜穀植付區ニ毎年少クトモ四回之ヲ指導ス
- 第七條 被指導者ハ指導ヲ受ケタル後ハ速切ニ遵守シテ之ヲ行フベシ
- 第八條 被指導者ハ故ナク指導ヲ拒絶スルコトヲ得ズ
- 第九條 指導者ノ指導費用ニ關シテハ本部ヨリ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 本辦法ハ農林部公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查速報第一九二號
昭和十六年六月

警政公報抄（邦譯） 民國三十年三月二十一日 第三十二號

興亞院華中連絡部

發送先

本院

華北連絡部次長

蒙疆、廈門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集國參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

各 各

九〇

部 部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滿鐵上海專務所

東亞研究所 上海

中華民國法制研究會 東京

各

各

部 部

凡 例

- 一、本輯の名稱を華中調査速報とす
- 二、調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、
各省公報及南京、上海兩市公報の邦譯を掲載す
- 三、調査速報の内容は保規に屬するものは原則として全部之を輯録する
方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省
略又訓令以下は重要なるもののみを摘録す
- 四、調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報
告するを適當と認め「速報」とす
- 五、調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

一、修正鐵路警務處組織規程	一
二、修正鐵路警務處護路隊編制規則	七
三、鐵路警務處服務規則	一〇
四、鐵路警務處護路隊服務規則	一六
五、鐵路長警服務規則	二一
六、鐵路警務處長警餉給章程	二六
七、中央警官學校畢業學員分發實習暫行章程	三七
八、中央警官學校畢業學員分發實習綱要	三七

修正鐵路警務處組織規程

(中華民國三十年二月十二日公布)

- 第一條 警政部ハ全國鐵道警察事務ヲ管理スル爲鐵道警察機關編制大綱第三條ノ規定ニ依リ各所ニ警務處ヲ分設シテ各該所ノ警察事務ヲ掌理セシム
- 第二條 鐵道警務處ハ駐在所ノ名稱ニ依リ某々鐵道警務處ト稱ス
- 第三條 鐵道警務處ハ特種警察署ニ直屬シ且駐在所ノ局又ハ委員會ノ指揮監督ヲ受ク
- 第四條 鐵道警務處ニ左記ノ各課ヲ置ク但シ事務ノ比較的簡單ナルトコロハ適宜之ヲ合併スルコトヲ得
- 第一課
- 第二課

第三課
第四課

- 第五條 第一課ハ左記ノ事項ヲ掌ル
 - 一 文書ノ受發、翻譯、淨書、照合、編纂、保存ニ關スル事項
 - 二 官印ノ保管ニ關スル事項
 - 三 職員及警官ノ成績考査、進退、救濟竝ニ出張、缺勤ニ關スル事項
 - 四 服裝及警備機械ニ關スル事項
 - 五 庶務會計ニ關スル事項
 - 六 統計ニ關スル事項
 - 七 其ノ他各課ニ屬セザル事項
- 第六條 第二課ハ左記ノ事項ヲ掌ル

- 第七條 第三課ハ左記ノ事項ヲ掌ル
- 一 警官ノ指揮及配備ニ關スル事項
 - 二 鐵道防備ノ規制及警衛ニ關スル事項
 - 三 鐵道財産及鐵道材料ノ保護ニ關スル事項
 - 四 旅客及貨物ノ保護ニ關スル事項
 - 五 各驛賣店ノ檢査取締ニ關スル事項
 - 六 天災事變及消防ニ關スル事項
 - 七 清潔、衛生及防疫ニ關スル事項
 - 八 鐵道警官ノ教育ニ關スル事項
- 第七條 第三課ハ左記ノ事項ヲ掌ル
- 一 違警事件ノ處分ニ關スル事項
 - 二 刑事々件ノ偵査及移送ニ關スル事項
 - 三 規則違反及違警物品ノ捜査逮捕ノ處置ニ關スル事項
 - 四 窃取サレタル鐵道物品材料ノ探偵捕縛ニ關スル事項

3

- 第八條 第四課ハ左記ノ事項ニ掌ル
- 一 勤務ノ監督視察ニ關スル事項
 - 二 軍運輸品ノ世話ニ關スル事項
 - 三 鐵道沿線地區ノ集會結社ノ維持保護及取締並ニ調査報告ニ關スル事項
 - 四 鐵道従業員ノ紛争調査及報告彈壓ニ關スル事項
 - 五 反動宣傳ノ調査、禁止ニ關スル事項
 - 六 秩序ノ維持ニ關スル事項
 - 七 其ノ他檢査、調査、報告ニ關スル事項
- 第九條 鐵道警務處ニ處長一人ヲ置キ處全般ノ事務ヲ綜理シ且所

屬職員及警官ヲ指揮監督ス

第十條 特種警察署ハ各警務處事務ノ繁簡ニ應ジ適宜副處長一人ヲ置キ處長ヲ補佐シテ職務ヲ處理スルコトヲ得

第十一條 鐵道警察署ノ各課ニ各課長一人ヲ置ク警政部之ヲ任命シ各該課ノ事務ヲ掌理セシム

第十二條 鐵道警察署ニ課長、督察員、事務員、偵緝員（探偵員）檢査員ヲ置ク特種警察署ヨリ部ニ申請シテ之ヲ任命シ各該課ノ事務ヲ分任セシム其ノ人員ハ警察ノ繁簡ニ應ジテ之ヲ定ム

第十三條 鐵道警察處ハ事務上ノ需要ニ因リ雇員若干人ヲ置ク處ヨリ之ヲ任命シ報告シテ記録セシム

第十四條 鐵道警察處ハ特種警察署及駐在所ノ局長又ハ委員會ノ公文ニ對シテハ總テ早（下級官署ヨリ上級官署ニ對シテ）文書ヲ以テ申請スルトキノ形式ヲ用ヒ所屬各區隊所ノ職員ニ對シ指

揮スベキトキハ總テ令ヲ用フ

第十五條 鐵道警察處服務規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 本規程ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時之ヲ修正スルコトヲ得

第十七條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

修正鐵路警務處護路隊編制規則

(中華民國三十年二月十二日公布)

- 第一條 鐵道警務處ハ警備ノ充實ト鐵道防備ノ鞏固ヲ計ル爲鐵道警察機關編制大綱第九條ノ規定ニ依テ護路隊ヲ設ク本規則ニ依リ之ヲ處理ス
- 第二條 護路隊ノ名稱ハ某々鐵道警務處護路隊ト稱ス
- 第三條 護路隊ハ大隊、中隊、分隊ニ分ツ一大隊ハ至中隊ヲ以テ之ヲ組織シ一中隊ハ三分隊ヲ以テ之ヲ組織シ一分隊ハ至班ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第四條 鐵道警務處ニ護路隊大隊又ハ中隊若干隊ヲ設ク該地ノ需要情況ニ應シ申請シテ之ヲ定ム
- 第五條 護路隊大隊ハ警務處ニ直屬シ處長、副處長ノ指揮監督ヲ

- 第六條 大隊ニ大隊長一人ヲ置ク大隊ノ事務ヲ管理シ所屬警備員ヲ指揮監督ス
- 第七條 大隊ニ大隊附(副大隊長)隊務員、書記、雇員ヲ置キ該大隊ノ事務ヲ分任ス
- 第八條 中隊ニ中隊長一人ヲ置キ本隊ノ事務ヲ管理シ所屬警備員ヲ指揮監督ス
- 第九條 中隊ニ中隊附(副中隊長)分隊長、特務長、書記、雇員ヲ置キ該中隊ノ事務ヲ分任ス
- 第十條 大隊長ハ警政部ヨリ之ヲ任命シ大隊附(副大隊長)、隊務員、中隊長、中隊附(副中隊長)ハ特種警察署ヨリ之ヲ任命シ分隊長、特務長ハ鐵道警務處ヨリ特種警察署ニ申請シテ之ヲ任命シ書記、雇員ハ鐵道警務處ヨリ之ヲ任命ス

- 第十一條 各隊職員ノ榮轉進退ハ該官ノ長官ヨリ警務處ニ申請シ調査ヲ經テ之ヲ決定ス
- 第十二條 護路隊警備員ノ定員ハ附表ニ依リテ之ヲ定ム
- 第十三條 護路隊服務規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十四條 本規則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時之ヲ修正スルコトヲ得
- 第十五條 本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道警務處服務規則

(中華民國三十年二月十二日公布)

- 第一條 本規則ハ鐵道警務處組織規程第十五條ノ規定ニ依リ之ヲ制定ス
- 第二條 警務處ノ事務處理ニ付法令ニ別段ノ規定アルヲ除クノ外總テ本規則ノ規定ニ依ル又駐在所ノ各項現行章則ガ警務ト關係アリテ相互ニ相抵觸セザルトキハ亦之ヲ遵守スベシ
- 第三條 處長ハ警政部特種警察署々長ノ命ヲ承ケ所屬機關及職員ヲ指揮監督シ駐在所ノ警務事務ヲ綜理ス副處長ハ處長ヲ輔佐シテ事務ヲ處理ス處長事故アルトキハ其職權ヲ代行スルコトヲ得
- 處長、副處長ハ駐在所ノ局長又ハ委員會ノ指揮監督ヲ受ク

第四條 課長ハ長官ノ命ヲ承ケ本課ノ職員ヲ指導シ主管事務ヲ分掌ス

第五條 課員、事務員ハ長官ノ命及本課々長ノ指導ヲ承ケ各該課ノ事項ヲ分掌ス

第六條 督察員ハ長官ノ命及主管課々長ノ指導ヲ承ケ各區隊所ノ勤務及其ノ他ノ派遣事項ヲ督察ス

第七條 偵緝員ハ長官ノ命及主管課々長ノ指導ヲ承ケ駐在所ノ區域内及列車内ノ偵察捕縛等ニ關スル事項ヲ處理ス

第八條 検査員ハ長官ノ命及主管課々長ノ指導ヲ承ケ駐在所區域内及列車内ノ安寧衛生等ニ關スル事項及其ノ他ノ派遣任務ノ處理ヲ検査ス

第九條 書記ハ電文翻譯、登記、淨書、照合等ノ事項ヲ分任ス

第十條 鐵道警務處ノ事務處理ニ付隨時警政部特種警察署ニ報告

スルコトヲ要シ駐在所ノ局又ハ委員會ニ通報スベキモノナルトキハ之ヲ通報スルコトヲ要ス

第十一條 鐵道警務處ニシテ駐在所ノ沿線ニ匪賊又ハ特別事故アリテ指示ヲ仰グニ及バザリシ時ハ豫メ之ヲ駐在所ノ局又ハ委員會ニ報告シテ處理ヲ仰ギ且直ニ警政部特種警察署ニ移牒シテ査定ヲ受クルコトヲ得

第十二條 職員ノ進退、轉任、出張、休暇、賞罰、救済等ハ規定ニ依リ之ヲ處理スルヲ除クノ外且各別ノ帳簿ニ登記シ毎月之ヲ報告スベシ

第十三條 銃器、彈藥、服裝ハ各別ニ之ヲ登記スベシ平日ノ増減消耗等隨時之ヲ報告スルヲ除クノ外且毎月末ニ表ヲ作成シテ報告スベシ

毎年ノ一月十日以前ニ於テ職員名簿ト共ニ一回之ヲ報告スル

モノトス

第十四條 鐵道警務處ハ違警及刑事々件ノ處理ニ關シ重大事件ハ隨時之ヲ報告スルヲ除クノ外且毎月表ヲ作製シテ報告スベシ

第十五條 違警ニ因ル處罰ノ金額ハ各級警察機關報停審罰金暫行

規則ノ規定ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

所有者ナキ物品ノ規則ニ依ル賣却金額ニ對シテハ毎月表ヲ作

製シテ報告スルコトヲ要シ且該金ヲ適當ニ保管シ警政部特種

警察署ニ報告シテ指示ヲ仰グコトヲ要シ別途ニ之ヲ使用スル

コトヲ得ズ

第十六條 鐵道警務處ニ拘留所ヲ設置スルコトヲ要シ人員ヲ派遣シ

テ之ヲ管理セシム總テ拘留シタル犯人ハ且毎月表ヲ作製シテ

報告スベシ其管理規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條 鐵道警務處ノ執務時間ハ駐在所局ノ規定時間ニ從フコト

ヲ要シ且總テノ職員ハ該時間内ニ出勤シテ自ラ出勤簿ニ署名スベシ若病氣又ハ事故ニ因リ出勤スル能ハザル時ハ規則ニ依

リ休暇ヲ願ヒ出ヅベシ其ノ請假規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條 休暇日及夜間ハ各別交替ニ日直、宿直人員ヲ指定シ各項

事務ヲ處理スベシ若緊急事件アルトキハ直ニ長官ニ詳細報告

シ指示ヲ請ヒテ之ヲ處理スベシ其ノ日直宿直規則ハ別ニ之ヲ

定ム

第十九條 鐵道警務處ハ事務處理ヲ整備スル目的ヲ以テ毎月處務會

議(事務處理會議)ヲ一回開催スベシ其ノ規則ハ別ニ之ヲ定

ム

第二十條 鐵道警務處辦事細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二十一條 本規則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時之ヲ修正ス

ルコトヲ得

第二十二條 本規則ハ認可公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道警務處護路隊服務規則

(中華民國三十年二月十二日公布)

- 第一條 護路隊ノ事務處理ハ總テ本規則ノ規定ニ依ル
- 第二條 大隊長ハ警務處長ノ命ヲ承ケ所屬警備員ヲ指揮監督シ本隊一切ノ事務ヲ處理ス
- 第三條 中隊長ハ大隊長ノ命ヲ承ケ本隊一切ノ事務ヲ處理シ且所屬警備員ヲ指揮ス
未ダ大隊ノ設ケナキ中隊ノ隊長ハ直接處長ノ命ヲ承ケ前項ノ事務ヲ處理ス
- 第四條 大隊附(副大隊長)ハ大隊長ヲ輔佐シ中隊附(副中隊長)ハ中隊長ヲ輔佐シテ一切ノ事務ヲ處理ス
- 第五條 分隊長ハ長官ノ命ヲ承ケ本隊一切ノ事務ヲ分任シ且所屬



職員ヲ管理ス

第六條 隊務員ハ大隊長ノ命ヲ承ケ文書、庶務、會計、服裝、武器等ノ事項ヲ分任ス

第七條 特務長ハ中隊長ノ命ヲ承ケ庶務、給與、服裝、武器等ノ事項ヲ管理ス

第八條 書記ハ文書、表冊ノ受發及保存等ノ事項ヲ處理ス

第九條 司書（雇員）ハ専ラ簿書、照合、電文翻譯等ノ事項ヲ司ル

第十條 設路隊ハ駐劄區域ニ非常事故發生シタルトキハ該官長官ハ直ニ警備員ヲ督率シ嚴密ニ防禦スルコトヲ要シ且隨時本官ノ長官ニ報告シ指示ヲ仰ギ一方當地及附近ノ軍隊警察ノ協力援助ヲ請フベシ

第十一條 附近ノ各驛ニ事故發生シ援助ヲ請ヒタルトキハ設路隊ハ

直ニ援助ニ赴クベシ

第十二條 中隊又ハ分隊ヲ各處ニ派遣駐劄シ及列車ヲ保護警備スル場合必要アルトキハ駐在地ノ警察所長又ハ分隊長ノ指揮ヲ受クベシ

第十三條 各中隊、分隊ガ防備スベク駐屯スルトキハ職務ヲ執行スルヲ除クノ外毎日須ラク二時間以上ノ補習教育ヲ受クベシ該管長官ニ於テ之ヲ監督施行ス其ノ課程ハ警務處ヨリ適宜之ヲ定ム

第十四條 大隊長、中隊長ハ所屬ノ防備業務ノ勤務ニ對シ毎月少クトモ二回之ヲ巡邏スルコトヲ要シ且巡邏出發期日及巡邏ノ情況ヲ報告シテ記録セシムベシ

第十五條 設路隊職員ノ賞罰及任免移動等ノ事項ニ對シテハ該管長官ヨリ隨時警務處ニ報告シテ裁定ヲ受クベシ



第十六條 護路隊ノ武器服裝ハ各別ニ之ヲ登記スベシ平日増減消耗等隨時之ヲ報告スルヲ除クノ外且毎月末ニ表ヲ作成シテ報告スベシ

毎年一月十日以前ニ於テ職員名簿ト共ニ之ヲ報告スルモノトス

第十七條 護路隊ハ文書、金錢、武器、服裝、器具等ノ事項ニ關シテハ各別ニ之ヲ登記スベシ

第十八條 護路隊職員ノ進退、轉任、出張、休暇、賞罰、救済等ノ事項ニ對シテハ各別ニ之ヲ登記スルコトヲ要シ且毎月ニハ表ヲ作成シテ警務處ニ報告スベシ

第十九條 各職員ハ機密事件又ハ未ダ公布セザル文書ニ對シテハ漏洩スルコトヲ得ズ又處理スベキ事務及文書ニ對シテハ之ヲ遅延スルコトヲ得ズ

第二十條 出張、休暇、賞罰、救済等ニ關シテハ各規定ニ依リ之ヲ處理ス

第二十一條 護路隊辦事細則ハ警務處ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第二十二條 本規則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ申請シテ之ヲ修正スルコトヲ得

第二十三條 本規則ハ認可公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鐵道長警服務規則

(中華民國三十年二月十二日公布)

第一章 總 則

第一條 鐵道長警(巡查部長)ハ警察法令ヲ遵守スルヲ除クノ外且本規則ヲ遵守スベシ

第二條 鐵道長警ハ鐵道線路ノ區域内ニ於テ警察權ヲ行使ス

第三條 鐵道長警ハ左記各項ヲ遵守スベシ

- 一 内外勤務ハ命令ヲ遵守シ苦勞ニ耐ヘ忍ブベシ
- 二 人、物ノ應接ハ親切丁寧務メテ傲慢ヲ戒ムベシ
- 三 服務ノトキハ精神ヲ振ヒ起スコトヲ要シ些少タリトモ怠情ナル態度ヲ表ハシ爲ニ威嚴ヲ損フコトアルヲ得ズ
- 四 事件ヲ處理スルトキハ公正廉潔タルコトヲ要シ強請又

ハ報酬ヲ受クルコトヲ得ズ

第五條 長警ハ如何ナルトキヲ問ハズ特別原因アリテ長官ノ許

可ヲ得タルモノヲ除クノ外ハ常ニ制服ヲ着用スベシ

第六條 事公務ニ關スルトキハ機密ナリヤ否ヲ問ハズ處外者ト

論議スルコトヲ得ズ

第七條 商人ニ對シテハ掛ニテ買ヒ又ハ貸借スルコトヲ得ズ

第八條 集會結社ノ参加及外事ノ干渉ヲ禁止ス

第九條 飲酒、賭博ヲ禁止ス

第四條 鐵道長警ハ警察法規ヲ知悉スベキヲ除クノ外凡ソ關係ア

ル規則ニ對シテハ總テ隨時之ニ注意スベシ

第五條 鐵道長警ハ服務區域内ニ於テハ左記各事項ヲ熟知スベシ

- 一 管轄路線區域ノ周圍及其ノ面積
- 二 停車場ノ位置及事務ノ簡繁

- 三 列車ノ發着度數、時刻及發着驛名
- 四 附近ノ町村名稱
- 五 附近ノ商店、料理屋、旅館、妓館（貸座敷）及金物、指物ノ各店
- 六 人口密集シ及人民ノ良シ惡シ又ハ邊僻無人等ノ場所
- 七 橋梁、暗渠若干
- 八 隧道ノ有無及其ノ長短距離
- 九 管區内ノ道路家屋及電柱ノ詳細ナル數目
- 十 軌道、里程、道碑（道路標識）番號
- 十一 工場、貨物倉庫若干
- 十二 停車場及各處重要官員ノ職名
- 十三 工夫頭、人夫若干及其ノ姓名、品性
- 十四 各處ニ河川、溝渠ノ有無

- 第十五 各處ニ井戸ノ有無及井戸小屋又ハ木蓋設備ノ有無
- 第二章 裝械（裝具）
- 第六條 鐵道長警ノ服裝及銃器ハ整然、清潔タルコトヲ要ス若汚損アルトキハ隨時洗濯シテ適宜ニ之ヲ保管スベシ
- 第七條 服務時間中ハ長官ヨリ特別ニ派遣スルヲ除クノ外攜帶スベキ物品左ノ如シ
 - 一 警械（警備器具）
 - 二 警笛
 - 三 捕繩
 - 四 日記簿、鉛筆
- 第八條 夜間ハ且警備燈又ハ懐中電燈ヲ携帯スベシ
- 第九條 服務時間中ハ通常警棍（警備棒）又ハ警刀ヲ携帯スベシ但シ必要アルトキハ銃器ノ携帯ヲ命ズルコトヲ得

第九條 鐵道長警ハ職務執行ノ必要ニ因リ警械使用條例ニ依リ之ヲ使用スルコトヲ得

第十條 警笛ヲ使用スルトキハ左記ノ規定ニ依ルベシ

一 列隊準備 一長聲

二 集合 二長聲

三 火災ノ注意 三長聲

四 盜賊捕縛及其ノ他ノ救助事項 一短聲 一長聲

其ノ他ノ諸事ニ關シテハ其ノ時ノ情況ニ因リ臨時ニ記號ヲ規定スベシ

第十一條 服務中警笛ノ音ヲ聞キタルトキハ直ニ之ニ赴クヲ除クノ外若前條第三項第四項ノ事情ニ遇ヒタルトキハ之ニ應接シテ警笛ヲ鳴ラシ外ノ警官ヲ召集シテ協助セシメ以テ力量ヲ増加スベシ

第三章 職權

第十二條 出勤ノトキハ左記事項ヲ日記簿ニ記載シテ長官ニ報告スベシ

一 期日及氣候

二 本日勤務ノ經過事實及休息時間

三 服務時間及場所、若站合（停車場ノプラットホーム）

又ハ路線ナルトキハ列車ノ往復回數及乗降車ノ重要人員又ハ特殊乘客ヲ明記スベシ

四 警乘服務ノトキハ列車ノ往復回數及發着驛名、時刻ヲ明記シ且所持セル乘車證ノ番號ヲ明記スベシ

五 違警又ハ其ノ他ノ事項ニ遇ヒタルトキハ其ノ概要ヲ記載スルコトヲ要シ事情ノ比較的重大ナルトキハ且隨時

長官ニ報告スベシ

長官ニ報告スベシ

長官ニ報告スベシ

長官ニ報告スベシ

六 其ノ他ノ事項

第十三條

鐵道長警ニシテ工人ガ刑事犯罪又ハ違警ニ涉ルモノアルコトヲ發覺シタルトキハ地方警察ノ職權ヲ執行スルコトヲ要シ且隨時長官ニ報告シテ處理ヲ仰グベシ

第十四條

緊急事故ノ發生ニ遇ヒ直ニ警備ヲ鳴ラシ援助ヲ求メタルモ仍之ヲ制止スル能ハザルトキハ直ニ長官ニ報告シ且之ヲ地方警察及最寄ノ軍隊ニ通知シテ援助ヲ請フベシ若シ地方警察ノ追捕セル犯人ガ鐵道界内ニ逃入シタルトキハ鐵道長警ハ直ニ追捕ニ協力スベシ

第十五條

違警又ハ刑事罪犯人ヲ逮捕シタルトキハ直ニ犯人及附屬物品ヲ帶同シ長官ニ報告シテ處理ヲ仰グベシ但シ刑事事件ナルトキハ該管長官ヨリ法院ニ轉送シテ之ヲ處理スルコトヲ要ス若シ進行中ノ列車内ニ於テ犯人ヲ逮捕シタルトキハ之ヲ護送

第十六條

シテ次ノ障ノ警察長官ヲ經由法院ニ轉送シテ處理ヲ受クベシ
停車場トキニ捕獲シタルトキハ即時之ヲ移交スベシ
ト共ニ之ヲ扣留シ前條ニ依リテ各別ニ之ヲ處理スベシ

- 一 携帶許可證ノナキ銃器、彈藥
- 二 爆發藥、爆彈ノ密輸入
- 三 火藥製造原料ノ密輸入
- 四 阿片、モルヒネ及其ノ他毒品ノ密輸入
- 五 風俗妨害ノ奢躉、玩具
- 六 鹽ノ密輸入
- 七 其ノ他法令ニ禁止シタル物品

第十七條

守望ハ一定ノ場所ニ在ルコトヲ要シ擅ニ離ルルコトヲ得

第四章 守望（見張シテ敵ヲ防グ）

ズ見聞シタルコトハ總テ注意スベシ

第十八條 守望ノトキハ精神ヲ職務ニ貫注（一心不亂）スベシ人ヨ
リノ訊問事件ニ對シ之ヲ解答スベクヲ除クノ外擅ニ休息、唱
歌、舞踏、吃煙、飲酒、讀書、零細物ノ買食、人ニ代リテ仕
事ヲ爲シ冗談及社ニモタレ坐臥又ハ其ノ他一切ノ不規則行動
ヲ行フコトヲ得ズ

第十九條 夜間ノ守望ハ前二條ノ規定ヲ遵守スルヲ除クノ外且精神
ヲ振ヒ起スコトヲ要シ假廢及倦怠狀態アルコトヲ得ズ

第二十條 暴風雨、大雪ノトキハ暫時避風閣（駐在小屋）ニ入ルコ
トヲ得但職務ニ對シテハ仍特別ニ注意スベシ

第二十一條 違禁ヲ知ラザル人ニ遇ヒタルトキハ先ニ之ヲ勸告阻止ス
ベシ若不服ナルトキハ直ニ警察所ニ拘引シテ長官ノ裁決ヲ仰
グベシ之ヲ私ニ毆打又ハ恥辱屬言ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十二條 官吏、外國人、陸海軍人員及其ノ他ノ警察所ニ留置スル
ニ都合悪キ者ニシテ若之ガ違警ノ事情アルトキハ本人ヨリ名

刺ヲ受取り其ノ住所、職務ヲ明カニ問ヒ詢シ之ヲ長官ニ報告
シテ處理ヲ仰グベシ

第二十三條 勤務ノ際若交替者ガ遅刻シタルト雖モ先ニ退勤ヲ爲スコ
トヲ得ズ但シ退勤後ハ其ノ事情ヲ長官ニ報告シテ處理ヲ仰グ
コトヲ得

第一節 站台（停車場ノプラットホーム）

第二十四條 守望發士（巡査）ハ停車場ノプラットホームニ對シ秩序
維持及安全保護ノ責ヲ有ス

第二十五條 旅客ガ未ダ乗車券ヲ買ハザルニ驛ニ入ラントスルトキハ
驛員ヲ援助シテ之ヲ勸告阻止スベシ但シ乗車券ヲ買フニ及バ
ズ車上ニ於テ乗車券ヲ購入スベキコトヲ豫メ聲明シタルトキ

ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 旅客ニ對シテハ隨時適當ニ之ヲ保護スベシ重要人員、軍隊及外國人婦女ガ驛ニアルヲ見タルトキハ無用者ノ圍ミ見ヲ禁止スベシ

第二十七條 客人ノ乗降車ノトキハ先後順番ニ乗降ヲ命ズルコトヲ要シ押合フコトヲ得ズ

第二十八條 プラツトホムニアル貨物ニ對シテハ隨時之ヲ監視スルコトヲ要シ又旅客ノ行李ニ對シテハ依頼ノ有無ヲ問ハズ總テ代リテ之ヲ注意スベシ

第二十九條 旅客ガ發車ノ列車ヲ知ラズ又ハプラツトホムニ列車ヲ俟ツ必要ナキトキハ明白ニ之ヲ指示スルコトヲ要シ若訊問アルトキハ親切ニ應答スベシ

第三十條 列車ガ已ニ發車シタルモ旅客ノ行李ガ未ダ上乘セザルト

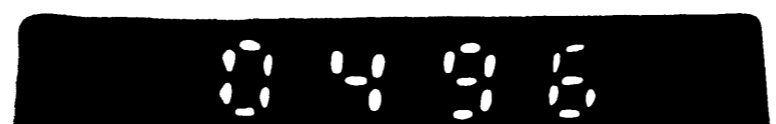
キハ驛長ニ通知シ驛長ヨリ次ノ驛及車長若ハ車上警官ニ通知シ所有主ヲ明査シテ其ノ行李ヲ次ノ驛ニ移交シテ所有主ニ交付スベシ

第三十一條 旅客ノ遺留物アルコトヲ發見シタトキハ直ニ本人ニ通知スベシ所有者ナキ遺留物ヲ拾ヒタルトキハ之ヲ長官ニ提出シテ遺留セル人ニ受取ラシムベシ

第三十二條 旅客ガ驛ニ至リタルモ地方ノ事情ヲ知ラズ之ガ爲種々ノ困難アリ又ハ婦女、幼兒ガ方向、伴侶ヲ迷ヒ失ヒタル等ノ事情アルトキハ詳細ニ指導シ適宜ニ之ヲ保護スベシ

第三十三條 旅客中ニ病氣ニ患リタルモノアルトキハ其ノ情況ヲ明細ニ調査シ長官ニ報告シテ之ヲ處理又ハ緊急ノ處置ヲ仰グベシ

第三十四條 發車後又ハ停車前ニアルトキハ旅客ノ乗降ヲ阻止スルコトヲ要シ以テ危險ヲ免ルベシ



第三十五條 旅客ガ下車ヲ間違ヒタル場合確ニ降車驛ヲ間違ヒタルモ

ノナルトキハ驛長ニ報告シテ處理ヲ受クベシ

第三十六條 夫役人夫又ハ旅客案内者若ハ小商人ハ鐵道局ヲ許可ヲ經

テ番號ノ付ケアル衣服又ハ銅牌ヲ佩用セルモノニ非ザレバ驛

ニ入ルコトヲ阻止スベシ

第三十七條 旅客ノ携帶行李ヲ人夫ガ強イテ運搬セントスルトキ又ハ

規則以外ノ運賃ヲ強要スルトキハ之ヲ禁止スベシ

第三十八條 旅客ノ行李ヲ人夫ガ故意ニ運搬セズ又ハ運搬スベキ人夫

ガ缺乏シタルトキハ之ヲ勸導(勸メ導キ)又ハ代リテ招致ス

ベシ

第三十九條 プラツトホームニ於テ特別ニ注意スベキ者左ノ如シ

一 酒亂者

二 瘋癲者(氣狂)

三 十二歳未満ノ子供

四 婦女ノ隨伴者ナキ者又ハ婦女、小供ヲ同伴シテ態度ノ

倉惶タル者

五 違禁物ニ類似スル物ヲ携帶セル者

六 プラツトホームヲ徘徊シ他人ノ行囊ヲ窺探(ウカガヒ

探ル)スル者

七 傳染病者

八 其ノ他形跡ノ疑フベキ者

第四十條 乗客ガ列車ヲ乗降スルトキハ賊ノ機ニ乗ズル竊盜ヲ嚴重

ニ防止スベシ

第四十一條 竊盜セラレタル物ヲ發見逮捕シタル場合若被害者ガ現場

ニ於テ件數、形狀ノ説明ヲ爲シ之ガ検査ト符合セルトキハ直

ニ其ノ原物ヲ被害者ニ交付シテ乗車セシメ滞留スルコトヲ得

ズ但シ該被害者ノ姓名、住所ヲ明ニ問ヒ訊シ又ハ名刺ヲ受取
リテ調査ニ備フルコトヲ要シ及逮捕シタル犯人ヲ警察所ニ連
行セシメ長官ノ處理ヲ仰グベシ

第四十二條 違禁物品ヲ捕獲シタルトキハ其ノ携帯者ヲ物品ト共ニ警
察所ニ連行セシメテ處理スベシ

第四十三條 プラツトホームノ警士ハ毎日該驛ノ發車及該驛ヲ通過ス
ル各項車輛ノ番號、時刻ヲ詳細ニ日記スベシ

第二節 票 房（賣札所）

第四十四條 旅客ガ乗車券ヲ買フトキハ種カニスベシ順次ニ進行スル
コトヲ勸令シ（勸ミ命令シ）押シ合ヒシテ秩序ヲ紊亂スルコ
トヲ得ズ

第四十五條 旅客ガ乗車券ノ發賣及發車時間、列車回數又ハ乗車賃金
ノ詢問アルトキハ明白ニ回答スベシ

第四十六條 旅客ガ乗車券ヲ買ヒタル鈎り錢又ハ貨幣ノ通用シ能ハザ
ルニ因ル驛員ト爭執アルトキハ婉曲ニ之ヲ仲裁スベシ

第四十七條 偽造貨幣ヲ所持シテ乗車券ヲ購買セントシテ驛員ニ發見
セラレタル犯人ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ警察所ニ連行セ
シメテ處理スベシ

第四十八條 票房（賣札所）守望ノ特別防備事項左ノ如シ

- 一 公然ニ銃器又ハ其ノ他ノ危險物ヲ携帯シテ票房ニ入ラ
ントスル者
- 二 黨ヲ組ミ票房附近ニ於テ様子ヲ見タル者
- 三 深夜ニ物品ヲ携帯シテ票房ヲ出入スル者
- 四 驛員ニ對シ強迫行爲ヲ加ヘントスル者
- 五 拘摸、小盜

第三節 軌 道

第四十九條 軌道ノ守望ハ軌道ニ障礙物及其ノ他危険ノ虞アリヤ否ニ注意スベシ

第五十條 軌道附近ハ無用者ノ徘徊及立チ止リヲ禁止スベシ

第五十一條 若軌道ヲ損壞シテ附屬品ヲ竊盗スル者アルトキハ直ニ之ヲ捕獲スベシ

第五十二條 軌道内又ハ附近ニ若堆積物品アリテ列車ノ進行ヲ妨害スルモノアルトキハ速カニ之ヲ撤去スルコトヲ命ズベシ

第五十三條 軌道上ニ停車シテ貨物ヲ積込ム車輛ニ對シテハ小賊ノ竊盗企圖アリヤ否ニ注意スベシ

第五十四條 軌道上ニ停車シタル石炭車ニ對シテハ車上ニ登攀又ハ車底ニ潜伏シテ石炭ヲ竊取スルヲ禁止スベシ

第五十五條 列車往來ノトキハ軌道内ヲ横斷スルコトヲ禁止スベシ未ダ柵ノ設ケナキトコロニ於テハ且交通秩序ニ注意スベシ

38

第五十六條 軌道附近ニハ盜賊ノ集合アリヤ否隨時嚴密ニ防備守望スルコトヲ要シ山洞、橋梁ニ對シテハ又嚴密ニ盜賊ノ妨害及行人ノ危険ヲ防備スベシ

第五十七條 軌道上ノ螺旋釘不足シ又ハ未ダ堅ク之ヲ螺旋セズ若ハ軌條ニ損壞等ノ事情アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ工人ニ通知シ之ヲ工務人員ニ報告シテ之ヲ處理スベシ

第五十八條 軌道上ニ若損壞又ハ各項危険ノ事情アリ汽車正ニ到着スルモ之ヲ修理スルニ間ニ合ハザルトキハ方法ヲ講ジテ危険ヲ表示シ列車ノ前進ヲ阻止スルコトヲ要シ且即時驛員ニ通知シテ處理ヲ爲サシムベシ

第五十九條 列車通過ノトキハ車輛ニ發火アリヤ否ニ注意スベシ若然燒又ハ一切ノ危険事情アルトキハ直ニ警笛ヲ鳴ラシ又ハ舉手シテ停車ヲ命ジ且車掌ニ通知スベシ

37

124

第四節 廠 棧（工場、倉庫）

第六十條 材料、車庫、貨物庫等ノ所ハ總テ眞面目ニ防備スベシ
第六十一條 夫役人夫等ガ廠棧ニ入りテ工作セントスルトキハ各該路

局ノ發行セル銅牌又ハ番號衣アルコトヲ要ス番號衣ヲ着用セ
ズ又ハ銅牌ノ携帯ナキ者ハ廠棧ニ入ルコトヲ禁止スベシ

第六十二條 廠棧等處ノ職員、工夫ガ材料等ノ物品ヲ持チ出ス際若
明管ナキトキハ事由ヲ明ニ問ヒ訊シテ日記簿ニ記載スベシ廠
棧等處ノ職員、工夫ニ非ザル者ガ公有物類似ノ物品ヲ携帯シ
テ廠棧外ニ出デントスルトキハ注意シテ調査スベシ

第六十三條 左記ノ事項ハ之ヲ禁止スベシ

- 一 廠棧等ノ所ニ於テ喫煙、飲酒、賭博ヲ爲スモノ
- 二 無賴、放浪者、乞食等ノ廠棧等ノ所ニ停留スルモノ
- 三 門外ヲ徘徊シ頻ニ廠棧等ノ所ヲ窺ヒ見ルモノ

四 廠棧等處ノ附近ニ火ヲ放チ危險ノ虞アルモノ

五 鐵道ノ職員、工夫ニ非ズシテ理由ヲ説明セズニ廠棧等
ノ所ニ擅リニ入ルモノ

六 廠棧等ノ所ニ於テ爭論シ違背ニ涉ルモノ
七 廠棧等處ニ於テ發火引火シ易キ物ヲ私用シタルモノ

第六十四條

左記事項ハ特別ニ注意スベシ

- 一 故ナク屢次廠棧等ノ所ヲ出入スルトキ
- 二 夜間ニ突然銃聲又ハ人聲ヲ聞キタルトキ
- 三 遮ニ烟又ハ硝石ノ臭氣アリテ發スル處ノ不明ナルトキ
- 四 工人ガ廠棧等處ニ於テ工作時間外ニ法外ノ行爲アリヤ
否
- 五 堆積貨物ニ倒潰ノ虞アリヤ否

第五章 巡 邏

第六十五條 巡邏ハ守望ノ線路監視ノ及バザルモノヲ補助スルモノニ

シテ其ノ責任ハ守望ト相同ジ

第六十六條 巡邏ハ一定ノ崗位(巡査ガ一定ノ場所ニ就キテ見張ヲナス所)ヲ以テ標準トシ出發ノ崗位ヨリ最終ノ崗位迄トス一崗位ヲ經過スル毎ニ總テ相互ニ號牌(番號札)ヲ交換スベシ

第六十七條 巡邏ノ號牌ハ崗位及號數ヲ明察ス無地ニ白字及白地ニ黒字ノ二種ニ分ツ白地ニ黒字ノ號牌ハ守望ノ警士之ヲ携帶シ黒地ニ白字ノ號牌ハ巡邏ノ警士之ヲ携帶スルモノトシ相互ニ之ヲ交換ス各退勤スルトキハ警察所ニ返還スルモノトス
號牌ハ長サ三寸、巾一寸、厚サ三分ノ木板又ハ珪瑯質ヲ以テ之ヲ製ス

第六十八條 巡邏ハ守望ニ應ジ毎次ノ站崗(巡査ガ一定ノ場所ニ就キテ見張ヲ爲ス)時間内ニ一回内出巡スルモノトス

第六十九條 巡邏ノトキハ一定ノ路線ニ依リ眞面目ニ觀察スルコトヲ

要シ故ナク職員及線路工夫ト談笑スルコトヲ得ズ

第七十條 巡邏ノトキハ橋梁、石梁(石ノ積ミ上ゲタル所)隧道、街道(道ノ分岐點)暗渠、河堤(河ノ堤防)電線、軌道、柵鐵(柵ギ目板及ジヨイントボールト)蓋板(鐵道ノ枕木)道釘(イヌタギ、枕木ニ打ツ釘)等ニ對シ特別ニ注意スベシ若損壞又ハ不足アルトキハ各別ニ第五十七條及第五十八條ニ依リ之ヲ處理スベシ

第七十一條 軌道上又ハ山洞内ニ磚石(煉瓦又ハ石)及其ノ他ノ障礙物ノ放置アルコトヲ調査シタルトキハ直ニ之ヲ除去スベシ若放置者ヲ發見シタルトキハ警察所迄之ヲ連行セシメ長官ニ報告シテ處理スベシ

第七十二條 列車ニ向ヒ煉瓦、石又ハ其ノ他ノ物ヲ投擲シタル者ニ遇ヒタルトキハ直ニ警察所ニ連行セシメ長官ニ報告シテ處理ス

ベシ

第七十三條 巡邏ノトキ若郷民ガ鐵道附近ニ於テ焚火セルヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ禁止スベシ

第七十四條 軌道内ニ人ガ爭論又ハ坐臥シアルトキハ直ニ之ヲ驅逐スベシ

第七十五條 軌道ノ附屬物品ヲ竊盜シ又ハ道路、電線、電柱ヲ損壞スル者ヲ發見シタルトキハ直ニ警察所ニ拘留シ長官ニ報告シテ處理スベシ

第七十六條 列車ヨリ跳ビ下リル者ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ訊問シ警察所ニ連行セシメテ處理スベシ

第七十七條 負傷、病氣、死亡ニ遇ヒタルトキハ直ニ長官ニ報告シ醫院ニ送り届ケ又ハ法院ニ通知シ之ヲ検屍埋葬セシムルモノトス

第七十八條 深夜巡邏ノ特別注意事項左ノ如シ

- 一 軌道上ニ障礙アリヤ否
- 二 軌道附近及山洞内ニ匪賊ノ潛伏アリヤ否
- 三 見張警士ニ怠慢アリヤ否
- 四 夫役ノ移動ニ對シ職務怠慢アリヤ否
- 五 路燈ノ消滅アリヤ否

第七十九條 巡邏ノ場合事故ニ遇ヒタルトキハ其ノ詳細ナル事情ヲ日記簿ニ記録シテ長官ニ報告スベシ

第六章 緝捕 (捕縛)

第八十條 事件ノ探偵調査捕縛ハ詳密勇敢ヲ以テ破獲(事露顯)レテ捕縛セラル(ヲ)期スルコトヲ要シ之ヲ漏洩スルコトヲ得ズ其ノ事件緊急ニシテ關係重大ナルトキハ特別迅速ニ方法ヲ講ジテ之ヲ逮捕スベシ

第八十一條 捕縛スベキ犯人ガ若鐵道範圍外ニ逃走シタルトキハ地方

警察ニ通知シテ援助ヲ請フベシ

第八十二條 事件ノ探偵調査ニ付若確實ナル事情ヲ得タルトキハ遲滯

ナク之ヲ報告スルコトヲ要ス

第八十三條 若捕縛シタル者ノ逃走ヲ虞ルルトキハ所在地ノ崗警(一

定ノ場所ニ就キテ見張ヲ爲ス巡查)又ハ地方警察ニ通知シテ

援助ヲ請フベシ

第八十四條 事件ノ偵査及捕縛ニ對シテハ怨ヲ持チ又ハ私情ニ因リ之

ヲ庇護スル等ノ事情アルコトヲ得ズ

第八十五條 捕縛シタル犯人ガ刑事嫌疑ニ涉リ法院ニ送リテ審理スベ

キモノアルトキハ長官ニ報告シテ處理ヲ仰グベシ

第八十六條 捕縛シタル犯人ニ對シテハ凌虐(苦シメ辱メル)又ハ故

意ニ放任セシムル行爲アルコトヲ得ズ若規則ヲ遵守セザル者

アルトキハ嚴重ナル拘束ヲ施スコトヲ得

第八十七條 捕縛シタル犯人ノ金錢、衣服等ハ私ニ之ヲ扣留スルコト

ヲ得ズ若違禁物品ノ携帶アルトキハ直ニ長官ニ報告シテ處理

ヲ仰グベシ

第七章 拘 置

第八十八條 暫時拘留ヲ受ケタル人ハ政府ヨリ食事ヲ給與ス若外ヨリ

被拘留者ニ食物ノ届ケアルトキハ之ヲ注意検査スルコトヲ要

シ且長官ニ報告シテ許可ヲ受クベシ

第八十九條 暫時拘留ヲ受ケタル人ニシテ若人ガ之ト面會スルトキハ

長官ノ許可ヲ經ルコトヲ要シ且適當ナル監視ヲ加フベシ審信

ヲ遞送スルトキハ検査ヲ經ルモノニ限り始テ之ヲ交付スルコ

トヲ得

第九十條 犯人ガ突然病氣シ又ハ非常事故ノ發生アルトキハ直ニ長

官ニ報告シ適宜ニ之ヲ治療又ハ保釋ヲ爲スベシ
第九十一條 被拘束者ガ頓死シタルトキハ其ノ情况及時期ヲ記載シ長
官ニ被告法院ニ通知シ検屍ヲ爲サシメ一方被拘束者ノ家族ニ
通知シテ受取ラシムベシ

第九十二條 天災ノ非常事變ニ遇ヒタルトキハ長官ニ申請シテ被拘束
者ヲ適當ナル場所ニ安置スベシ

第八章 諜報

第九十三條 諜報ハ防務中ノ重要ナル一部分ナリ便衣警察及密探之ニ
任ズ

第九十四條 探偵員ハ隨時匪賊ノ情況ヲ探査スルコトヲ要シ外ニ在リ
テ遊惰シテ職務ヲ放棄スルコトヲ得ズ

第九十五條 探偵員ガ消息ヲ得タルトキハ方法ヲ詳シ確實ニ探査シテ
長官ニ報告スルコトヲ要シ敷衍塞責(ヨイ加減)ニシテ責任ヲ

ヲ逃レル)スルコトヲ得ズ

第九十六條 探偵員ノ特別注意事項左ノ如シ

一 各驛附近ニ匪賊ガ變裝シテ探査スル消息ノ事情アリヤ
否ヲ探査ス

二 沿線及各驛附近ノ鄉村ニ匪賊發生ノ不穩事情アリヤ否
ヲ報告ス

三 沿線及各驛附近ノ鄉村ニ遊民ノ治安妨害事情アリヤ否
ヲ觀察ス

四 沿線ノ各驛附近ニ土匪ノ發生事情アリヤ否ヲ調査ス

五 匪賊ノアル場所及匪賊ノ勢力及意向ヲ探査ス

第九十七條 探査ニ因リ得タル確實ナル消息ハ左記ノ表式ニ依リ之ヲ
作成シテ長官ニ報告スベシ (表省略)

第九十八條 探偵員ハ各驛ニ於ケル旅客ノ乗降情况及各地ノ情況ヲ毎

日隨時該管長官ニ報告スベシ重要事項ナルトキハ該管長官ヨリ直ニ行政部ニ報告シテ査定ヲ受クベシ

第九章 護 車

第一節 客 車

第九十九條 護車ノ長警（巡查部長又ハ警部補）ハ隨時巡察スルコトヲ要シ任意ニ車上ニ於テ坐臥、喧笑（騒ギワメキ笑フ）スルコトヲ得ズ

第一百條 護車ノ長警ニシテ左記ノ事項ニ遇ヒタルトキハ適當ニ之ヲ處理スベシ

- 一 旅客ガ行李ノ放置ニ因リ各種ノ障礙發生シタルトキハ勸告指導シテ適當ニ之ヲ安置スベシ
- 二 旅客ニ若爭論又ハ事務人員ト爭論スル事情アルトキハ隨時之ヲ處理シテ仲裁スベシ
- 三 婦女子乗車シタルモ若坐席ナキトキハ車務人員ニ通知

シテ適當ニ之ヲ安置スベシ
四 旅客ガ扉ノ外ニ立テタルトキハ之ヲ勸メテ中ニ入ラシムベシ

五 旅客ニ形跡疑フベキ者アルトキハ之ヲ注意シテ偵察スベシ

第一百一條 護車ノ長警ハ車務人員ト協力シテ乗車券ヲ検査スルコトヲ要シ若乗車券ナキ乗客アルトキハ車務人員ニ於テ規則ニ依リ之ヲ處理スベシ

第一百二條 乗客ニ老人又ハ病人アリテ乗降車スルトキハ之ヲ注意保護スベシ

第一百三條 乗客ガ若鐵道規則ニ違反スル者アルトキハ詳細ニ之ヲ解釋スルコトヲ要シ若爭鬭毆打シテ人ヲ傷ケ又ハ意外ノ事件發生シタルトキハ列車ノ着驛ノトキニ驛ノ構内巡查ニ交付シテ

處理セシムベシ

第一百四條 車上ニ婦女子ヲ携帶シタル形跡疑フベキ者アルトキハ特別ニ注意スルコトヲ要シ若誘拐シタルコトヲ發見シタルトキハ長官ニ交付シテ處理ヲ受クベシ

第一百五條 乗客ト事件ヲ接渉スルトキハ親切ナルコトヲ要シ傲慢粗暴ノ言論アルコトヲ得ズ

第一百六條 該處長警ノ上車セルトキハ無料乗車券又ハ偽造乗車券ノ有無ヲ檢査シ詳細ニ之ヲ記載シテ本管長官ニ報告スベシ

第一百七條 車上ニ若護送犯人アルトキハ協力シテ之ヲ防備スベシ
第一百八條 護車ノ長警ハ隨時竊盜、匪賊ガ車内ニ潛伏シアルヤ否ヲ調査スルコトヲ要シ深夜ニ於ケル乗客ノ熟睡及乗客ノ乗降車ノトキニハ且車務人員ヲ督察シ意ヲ加ヘテ防備スベシ若車上ニ於テ會テ竊盜ヲ働キタル者ニ遇ヒタルトキハ特別ニ之ヲ調査ス

ルコトヲ要シ且其ノ行動ヲ監視スベシ

第一百九條 車上ニ竊盜犯ヲ捕縛シタルトキハ適當ニ之ヲ監視シ本規則第十五條ニ依リ之ヲ處理スベシ

第一百十條 捜査シ得タル贓物又ハ其ノ他ノ遺失物ニ對シ調査シタルモ所有主ナキトキハ長官ニ送付シテ遺失者ニ受取ラシム

第一百十一條 車上ニ於テ竊盜犯人ノ跳ビ下リ逃走ニ遇ヒタルトキハ車長ト相談シ列車ヲ暫時停車セシメ以テ追撃ノ便ナラシムベシ但シ列車ノ前進時刻ヲ誤ラザルモノヲ以テ限トス

第一百十二條 若匪賊又ハ無知ノ子供ガ車内ニ向ビ煉瓦、石等ノ物ヲ投擲シタルトキハ車輪又ハ乗客ノ身体ヲ損傷シタルヤ否ヲ問ハズ該處附近ノ村名、里程、道路標識、番號ヲ明記シ列車ノ次驛ニ着クトキニ之ヲ驛ノ構内巡查ニ通知シテ適宜ニ處理ヲ爲スベシ

第一百十三條 車上ニ重要人員アルトキハ適當ニ之ヲ世話スベシ
第一百十四條 列車ノ坐席及貨切室又ハ車内ノ窓、壁等ノ所ハ隨時之
ヲ調査スルコトヲ要シ若汚穢不潔アルトキハ直ニ車掌ニ通知
シテ之ヲ掃除セシムベシ
第一百十五條 車上ノ食堂及食物ノ販賣ニ對シテハ隨時不潔又ハ不衛
生ノ事情アリヤ否ニ注意スベシ
第一百十六條 車上ニ傳染病又ハ其ノ他ノ疾病ヲ發見シタルトキハ直
ニ車長ニ通知シ豫防、救急ノ治療方法ヲ施行スベシ
第一百十七條 瘋癲、酒亂者ガ人ニ對シ狂暴行爲アルトキハ暫時之ヲ
拘束スルコトヲ得
第一百十八條 車上ニ於テ死亡シタルトキハ次ノ驛ニ其ノ親族ニ命ジ
テ選ビ降スモノトシ若親族、親友ナキトキハ驛ノ構内巡査ニ
通知シ一方長官ニ報告シ之ヲ地方警察機關又ハ法院ニ通知シ

テ處理ヲ爲スベシ

第一百十九條 護車ノ警察官ハ列車ノ着驛後旅客及行李ノ全部降車シ
タル後ニ始テ列車ヨリ離ルルコトヲ得

第二節 貨車

第一百二十條 貨車ヲ守護スル長警ニシテ貨車ノ積ミ込ミ適當ナラズ
又ハ封誌(包裝)堅固ナラザル事情アルコトヲ調査シタルト

キハ直ニ該管ノ驛長ニ通知シテ整理ヲ爲サシムベシ

第一百二十一條 護車ノ警察官ハ每班運貨備查表冊(貨物運輸検査表)
ヲ備フベシ其ノ表式左ノ如シ (表省略)

前項ノ表冊ハ貨物庫守護ノ警察官ニモ亦之ヲ適用ス

第一百二十二條 貨車ノ封誌ガ途中ニ於テ若損壞ノ事情アルトキハ車
上警察官ハ直ニ車長ニ通知シテ検査ヲ爲サシメ且表冊ノ備考
欄内ニハ事由ヲ明記シ以テ調査ニ備フベシ

第一百二十三條 護車ノ警察官ガ交替スルトキハ相互ニ封ジ目、糊布
(貨車ノシート、覆)焼印ニ破損アリヤ否ヲ検査シ現場ニ之
ヲ引繼グベシ着驛、倉庫入ノトキハ該驛ノ驛長ヨリ倉庫守護
ノ警察官ヲ監督シ封誌ヲ検査シ各別ニ表冊内ニ署名シテ之ヲ
引繼グベシ

第一百二十四條 護車ノ警察官ハ貨車ノ發車前ニ封誌ヲ検査シタル情
況ヲ備查表内ニ記載シ署名シテ之ヲ引繼グベシ

第一百二十五條 貨車ヲ守護スル長警ハ左記ノ各項ニ對シテハ注意ヲ
加フベシ

- 一 貨車ガ驛ニ停車シタルトキハ該驛ノ驛長及該列車ノ車
長ト協同シテ封誌ニ異狀アリヤ否ヲ検査スベシ
- 二 車及驛ニ石炭灰飛ビテ危險アリヤ否
- 三 沿線ノ急坂及橋梁ニテ列車ノ進行遲緩セル場所

55

四 森林及草木ノ繁茂又ハ荒廢邊僻ノ場所

五 深夜沿線ニ竊盜ノ潛伏アリヤ否

第一百二十六條 貨車ヲ守護スル長警ハ左記ノ各項ニ對シテハ禁止ヲ
加フベシ

一 未ダ驛長ガ貨物運輸管内ニ署名セズニ撞ニ貨車ニ運ビ
入りタルトキ

二 貨車内ニ於テ吃煙シタルトキ

三 車底ニ潛伏シテ竊盜ヲ意圖シタルトキ

第一百二十七條 第一百二十五條第二項乃至第五項及前條ノ第三項ハ
客車守護ノ長警ニモ之ヲ適用ス

第一百二十八條 各驛ニ停車シテ封誌ヲ検査スル時若變動アルトキハ
該驛ノ驛長ニ通知シテ更ニ封誌ヲ押捺スベシ但シ仍該列車ノ
車長及護車ノ警察官ニ於テ責ヲ負フモノトス

56

133

第一百二十九條 貨車が各驛ヲ經過スルニ若停車ガ六時間ヲ超ユルト
キハ該驛ノ驛長及倉庫警察官ニヨリ貨物ヲ検査シテ之ヲ受領
スルコトヲ要シ且貨物簿ノ備考欄内ニ引繼ギノ情况ヲ明記シ
之ガ發車スル場合ハ更ニ車長及護車警察官ニ引繼グベシ

第三節 警備

第一百三十條 必要アルトキハ適宜護路隊ヲ派遣シ隨車シテ護車ノ任
務ヲ擔任セシムルコトヲ得

第一百三十一條 護車ノ護路隊ハ一部分ヲ順番ニ各車ノ守望ニ配置ス
ルコトヲ要シ且主力ヲ武装車内ニ集中シ隊ヲ引率スル官長ニ
於テ直接之ヲ指揮スベシ

第一百三十二條 隊ヲ引率スル官長ハ各車ニ配置シタル警備兵ニ對シ
テハ適當ニ連絡ノ方法ヲ定ムルコトヲ要ス官長ハ勤務上ノ必
要ヲ除クノ外ハ武装車ヲ離ルルコトヲ得ズ

58

第一百三十三條 護車ノ護路隊ハ總テ武装スルコトヲ要シ何時タルヲ
問ハズ銃彈ヲヘズシ又ハ撞ニ武装ヲ解クコトヲ得ズ

第一百三十四條 武装車内又ハ各車ノ守望ニ在ル長警ハ長官ノ命令ナ
キトキハ撞ニ職務ヲ離ルルコトヲ得ズ

第一百三十五條 護車ノ護路隊ノ遵守スベキ事項左ノ如シ

- 一 隨時列車ノ兩側ヲ監視シ遮蔽セル場所ニ對シテハ格別
ニ注意スベシ
- 二 匪賊アルコトヲ發見シタルトキハ速ニ約定セル記號ニ
依リ之ヲ隣警（隣ノ警備兵）ニ通報シ且長官ニ報告ス
ベシ情况緊急ナルトキハ銃ヲ放チテ警備ヲ知ラシムル
コトヲ得
- 三 警備スルトキハ旅客ヲシテ原ノ位置ニ身ヲ伏セシムル
コトヲ要シ倉庫逃走スルコトヲ得ズ

57

134

- 四 警備スルトキハ列車ノ門ヲ緊閉シ以テ射撃抵抗スベシ
未ダ長官ノ命令ヲ得ザルトキハ下車スルコトヲ得ズ
- 五 旅客ノ各車ヲ往來スル形跡ノ疑フベキ者ニ對シテハ格
別ニ注意スベシ
- 六 守望ノ崗警ハ坐臥、集談シテ手ヨリ武器ヲ離スコトヲ
得ズ

第一百三十六條 特別ニ遵守スベキ事項ハ隊ヲ引率スル長官ニ於テ臨

時ニ之ヲ授ク

其ノ備フベキ事項左ノ如シ

- 一 特別注意スベキ事項
- 二 各種記號及連絡法
- 三 隣崗（隣ノ見張り場所）及長官ノ位置
- 四 各種ノ臨時規定

第一百三十七條 列車が驛ニ入り停車スルトキハ各車ノ守崗（番兵）

ハ下車シテ列車ノ門ヲ守衛シ乗降者等ヲ監視スベシ若疑フベ

キ者アルトキハ阻止シテ之ヲ詢問スベシ隊ヲ引率スル長官モ

亦下車シテ各警備兵ヲ巡視スルコトヲ要シ且構内警察官ト情

報ヲ交換スベシ

第一百三十八條 防禦ノトキハ車上又ハ下車シテ抵抗スベシ其ノ配置

方法ハ隊ヲ引率スル長官ニ於テ之ヲ定ム

第一百三十九條 護路隊ハ専ラ護車ヲ以テ責任トス隊ノ長官ハ護車ノ

辦法又ハ警備ノ處置ニ對シテハ常ニ研究ヲ爲スベシ時ニハ各

種ノ警備ヲ爲ス情況ノ假定ノ下ニ抵抗スル方法ヲ研究シ時ニ

臨ミ倉惶ナラザル様爲サシムベシ部隊ノ訓練モ亦此ノ要領ニ

依リ之ヲ行フベシ

第一百四十條 護車ノ動作ハ専ラ守備防禦ニ屬ス若獨立ニテ匪賊ヲ察

退シ得ルヤ否ヤヲ問ハズ事件發生シタルトキハ迅速ニ前後ノ各驛及近隣ノ軍隊ニ報告スベシ若獨立ニテ匪賊ヲ擊退シ得タル場合則チ歩銃ノ有効射程外ニ匪賊ガ鐵道線路ヨリ脫離シタルトキハ直ニ射撃ヲ停止スベシ

第一百四十一條 敵ニ遇フトキノ作戰要領ハ總テ陸軍ノ各種典令教範及一切ノ特別規定ニ依リ之ヲ施行ス

第一百四十二條 護車ノ護路隊ガ途中ニ於テ班ヲ換ヘ之ヲ交替スルトキハ退班ノ隊ヲ引率スル官長ハ其ノ既往ノ情況ヲ詳細ニ接班ノ官長ニ報告スベシ

第一百四十三條 護車ノ護路隊ハ卸班シタル後ハ直ニ報告表ヲ作成シテ主管長官ニ報告スベシ其ノ表式左ノ如シ (表省略)

第一百四十四條 接班スル護車ノ護路隊ハ列車ノ着驛スル二十分前ニ驛ニ整隊準備スベシ

第九章 駐防 (駐在防備)

第一百四十五條 各驛ニ分駐又ハ護車ノ卸班警察及護路隊ニ付官長ヨリ以下ハ總テ隨時出發スベキ準備アルベシ

第一百四十六條 未ダ上車服務セザル護路隊ハ一切ノ規定計劃ニ從ヒ軍隊教育ノ要領ニ依リ教育ヲ施行スベシ

第一百四十七條 各驛ニ駐在防備スル護路隊ハ獨立又ハ地方ノ軍隊、警察ト協力シテ鐵道治安ノ妨害及交通擾亂ノ匪賊ヲ防備除滅スベシ

第一百四十八條 驛ニ駐屯スル護路隊ハ該驛ノ警察トハ密接ノ連絡ヲ保持スベシ階級ノ大小ニ依リ相互ニ服従スル義務ヲ有ス

第一百四十九條 區ニ駐屯スル護路隊長暨ハ各該管長官ノ指揮ヲ兼ネ受クルモノトス

第十章 備差 (公務ノ差シツカハシニ備フ)

第一百五十條 鐵道長警及護路隊ハ守望、巡邏勤務ヲ除クノ外駐在所ニ若干人ヲ配置シ差遣（差シツカハス）ニ服セシメ以テ差警（公務ニ因ル差シツカハシノ警官）ヲ備フベシ

第一百五十一條 差警ヲ備フルトキハ制服ヲ着用スベシ長官ノ許可ヲ經ルニ非ザレバ外出スルコトヲ得ズ

第十一章 附 則

第一百五十二條 鐵道警察ノ禮節規則及獎勵（賞罰）規則ハ別ニ之ヲ定ム

第一百五十三條 本規則ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ警務處ヨリ單行法規ヲ制定スルコトヲ得但シ本規則ト抵觸スルコトヲ得ズ

第一百五十四條 本規則ニ若シ修改スベキ處アルトキハ警務處ヨリ特種警察署ヲ經由部ニ移牒シテ處理ヲ受クルコトヲ得

第一百五十五條 本規則ハ認可公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鐵路警務處長警餉給章程

(中華民國三十年二月十二日公布)

第一條 鐵道警務處長警(巡查部長)ノ俸給編制ハ本章程ノ規定ニ依リ之ヲ處理ス

第二條 長警ノ俸給等級及編制左ノ如シ

甲 等級

一 警長、班長ハ一、二、三等ニ分ツ

一等 四十六元

二等 四十二元

三等 三十八元

二 警士、隊警ハ一、二、三等ニ分ツ

一等 三十四元

乙 編制

二等 三十二元

三等 三十元

一 警長、班長ハ班數ヲ以テ基準トス

十班毎ニ一等三名、二等三名、三等四名

十班ニ滿ザルトキハ之ヲ比例トシテ編制ス

二 警士、隊警ハ班ノ單位ヲ以テ基準トス

一等二名、二等三名、三等五名

第三條 新ニ補充シタル警士ハ募補警トシ毎月ノ俸給二十八元トス

第四條 本章程ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時之ヲ修正スルコトヲ得

第五條 本章程ハ認可公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

中央警官學校畢業學員分發
實習暫行章程

(中華民國三十年三月六日公布)

- 第一條 中央警官學校每期卒業學員(學生)ノ分發實習(各省ニ派遣シテ實習セシム)ハ本章程ニ依リ之ヲ處理ス
- 第二條 學員ヲ分發實習セシムル期間ハ六月トス
現任警官ニシテ調訓(訓練スル爲ニ召集ス)ヲ受ケタル學生ナルトキハ實習ヲ免除ス
- 第三條 每期ノ卒業學生ハ卒業後ノ半月内ニ分發志願書ヲ作成シテ學校ニ提出スルコトヲ要シ學校ニ於テハ成績表ト共ニ警政部ニ報告シテ再審査ヲ受クベシ
前項ノ志願書内ニハ第一志願及第二志願ヲ記載スルモノトス
現任警官ニシテ調訓(訓練スル爲ニ召集ス)ヲ受ケタル學生

67

- ハ規則ニ依リ原機關ニ派遣服務セシムルコトヲ要シ別ニ分發ヲ受クベク申請スルコトヲ得ズ
- 第四條 每期各警察機關ニ分發實習セシムル學生數ハ警政部ヨリ之ヲ制定シ且行政院ニ報告シテ記錄セシム
- 第五條 警政部ニ於テ分發ヲ處理スルトキハ左記ノ標準ニ依リ之ヲ行フ

68

- 一 第一志願ノ分發人員多過ギルトキハ卒業試驗順ニ依リ優秀ノ者ヨリ先ニ之ヲ分發スルコトヲ要シ其ノ餘ノ學生ハ其ノ第二志願ニ依リ之ヲ分發スベシ
- 二 第二志願ノ分發人員多過ギルトキハ仍優秀ノ者ヨリ先ニ之ヲ分發シ其ノ餘ノ學生ノ分發ハ警政部ニ於テ之ヲ決定スルモノトス
- 三 必要アルトキハ學生ノ志願ニ依ラズニ情況ヲ酌量シテ

之ヲ派遣スルコトヲ得

第六條 警政部ハ分發スベキ名簿ヲ査定シタル後ハ各學校及各分發機關ニ通知スルモノトス

各學生ニシテ通知ヲ受取リタル後ハ一月内ニ印紙稅ヲ納入シ警政部ニ分發證書ノ下附ヲ申請スベシ

第七條

分發ヲ受クル學生ニシテ分發證書ノ下附ヲ受ケタルトキハ規定セル期限内ニ被分發機關ニ出廳スルコトヲ要ス若期限内ニ出廳セザルトキハ其ノ證書ヲ取消スコトヲ得但シ止ムヲ得ザル事故ニ因リ期限内ニ出廳スル能ハザルトキハ詳細ニ理由ヲ敘述シ警政部ニ申請シテ許可ヲ受クベシ

第八條

學生卒業シタルモ病氣又ハ其ノ他ノ特別原因ニ依リ實習スル能ハザルトキハ警政部ニ申請シテ半年延期スルコトヲ得

70

但シ延期ハ多クテ二回ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九條

分發ヲ受クル學生ハ個人ノ過失ニ因リ實習ヲ修了スル能ハザルモノハ調査ヲ經テ事實ニ屬シ又ハ被分發機關ヨリ證明ヲ經タル後ハ警政部ヨリ其ノ實習期間ヲ改メ更ニ分發セシメ以テ合併シテ計算スルコトヲ得

第十條

分發セラレタル學生ニシテ被分發機關ニ出廳セントスルトキハ分發證書ヲ提出スベシ

第十一條

各被分發機關ハ分發ヲ受ケタル學生ノ出廳アルトキハ直ニ工作實習ニ派遣シ且其ノ出廳期日ヲ報告記録セシメ茲ニ分發證書ヲ部ニ返納シテ取消スベシ

第十二條

分發セラレタル學生ハ實習期間中ニ於テハ被分發機關ヨリ毎月五十元ヨリ八十元迄ノ手當ヲ支給スルモノトス

140

現任警官ニ屬スル調訓ヲ受ケタル學生ニシテ卒業シタル後ハ
原調機關（召集セラレタル原機關）ヨリ原職原俸給又ハ同等
ノ職務ヲ以テ之ヲ任用スルモノトス若之ガ成績優良ナルトキ
ハ進級又ハ加俸スルコトヲ得

第十三條 分發セラレタル學生ハ分發機關長官ノ命令ニ服従スベシ

第十四條 分發セラレタル學生ハ實習期間中ニ於テハ實習綱要ニ依
リ報告書ヲ作成スルコトヲ要シ且詳細ニ所在地ノ警務狀況ヲ
調査シ實習期限ノ滿了後之ヲ警政部ニ報告シテ記録セシムベ
シ

第十五條 分發セラレタル學生ニシテ實習期限滿了シタル後ハ該管
長官ニ於テ成績表ヲ作製シ考語（試験又ハ考査ノ結果ノ批評）
ヲ添ヘ警政部ニ移牒シ審査ヲ經テ卒業證書ノ下附ヲ受ケ且原
實習機關ヨリ法ニ依リ先ニ之ヲ任用スルモノトス

實習期間ニ於テ該分發セラレタル學生ニシテ成績優良而シテ
相當ナル官職ノ缺員アルトキハ申請シテ先ニ之ヲ任用スルコ
トヲ得

第十六條 本章程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス若シ未ダ盡サザルノ事
項アルトキハ隨時之ヲ修正スルコトヲ得

中央警官學校畢業學員分發實習綱要

(中華民國三十年三月六日公布)

第一條 本綱要ハ中央警官學校畢業學員分發實習章程第十一條ノ規定ニ依リ之ヲ制定ス

第二條 分發ヲ受クル學員(學生)ハ左記ノ順序ニ依リ之ヲ實習スベシ

- 一 第一月ハ警士(巡査)ノ勤務ヲ實習ス
守望(見張シテ敵ヲ防グ)巡邏及其ノ他警士ノ處理スベキ各項勤務等ノ如シ
- 二 第二月ハ警長(巡査部長)ノ勤務ヲ實習ス
班ヲ引率シテノ勤務調査及其ノ他警長ノ各項勤務等ノ如シ

75

三 第三月ハ巡官(警部)ノ勤務ヲ實習ス
長警ヲ監督シテノ勤務検査及其ノ他巡官ノ處理スベキ事項等ノ如シ

74

四 第四月ハ行政業務ヲ實習ス
行政警察ニ關スル一切事項ノ文書ノ起草等ノ如シ

五 第五月ハ司法業務ヲ實習ス
事件ノ裁判及司法警察ニ關スル一切事項ノ文書ノ起草等ノ如シ

六 第六月ハ勤務ノ督察及政治警察業務ヲ實習ス

第三條 第三月乃至第五月ノ期間ハ規定業務ニ依リ之ヲ練習スルヲ除クノ外且主管長官ヨリ事情ヲ酌量シテ其ノ他相當ノ事務ノ練習ヲ命ズルコトヲ得

第四條 分發ヲ受クル學員ニシテ各項ノ事務ヲ實習スルトキハ各

該主管長官ノ指導ヲ受クベシ
第五 係 分發ヲ受クル學員ハ其ノ實習心得ヲ報告書ニ作成シ且所
在地ノ警務狀況ヲ詳細ニ記載シテ實習期間ノ滿了後一括ニ警
政部ニ報告シテ記録セシムベシ
第六 係 本綱要ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス若未ダ盡サザルノ事項
アルトキハ隨時之ヲ修正スルコトヲ得

